

2008年7月24日00時26分の岩手県沿岸北部の地震について（第2報）

○震源要素（暫定値）

震源の精査をした結果、震源要素（暫定値）は次のとおりとなりました。

（7月24日02時50分発表）

マグニチュード	6.8
深さ	108km
緯度	北緯 39度43.9分
経度	東経 141度38.1分

○余震活動の状況（余震活動は低調）

余震活動は低調で、10時00分現在、震度1以上を観測した余震はありません。

なお、過去には今回と同じように深いところで発生した地震で震度4となる余震が発生した事例があります。

○未入電地点の震度について

地震直後には岩手県が整備した遠野市宮守町の震度観測点の震度が未入電でしたが、その後の調査により震度5強であることが分かりました。

○地震機動観測班の出勤

気象庁は、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）として、この地震により震度6強～6弱が観測された地域を中心に、被害及び地震動の調査のため、気象庁本庁（1班、3名）、仙台管区气象台（3班、計6名）、盛岡地方气象台（2班、計7名）、青森地方气象台（2班、計6名）より地震機動観測班を派遣しました。なお、震度6強を観測した岩手県洋野町には臨時の震度計を設置する予定です。

○防災上の留意事項

総務省消防庁（7月24日09時00分現在）によると、今回の地震により、負傷者90名や家屋の一部破損などの被害が確認されています。

揺れの強かった地域では、土砂災害や家屋の倒壊などの危険性が通常より高くなっています。また、降雨により、被害が拡大する可能性がありますので、作業等には十分注意して下さい。

本件に関する問い合わせ先：地震火山部地震津波監視課 03-3212-8341(内線 4542)